

KUMAMOTO



GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2013年5月27日】

第1089回

2012-2013年度 第37回

【例会】

1.開会・点鐘 18:30

2.食事と交歓

来訪者紹介

来訪者:

御夫人5名、御家族18名、
米山奨学生 曹 娥さん



友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長

本日はホテル鑑賞の移動例会です。奥様方ははじめ、沢山のお子様方に参加頂き、有難うございます。また、米山奨学生のソウ・ガさんにもお越し頂いておりますので、後ほど奥様方に紹介したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

ホテル鑑賞例会も今年3回目を迎えますが、今年が最後となりますので、皆様しっかり楽しんで頂ければと思います。

さて、先週の土曜日は、仙波会員、大友会員と共に地区職業奉仕セミナーに参加して来ました。13時半より16時半まで、グランメッセにて、121名の参加がありました。前半のパネルディスカッションでは、「ロータリーの職業奉仕の現代的展開」というタイトルで、地区研修リーダーの木下光一さんのお話がありました。その

後、15のグループに分かれて、職業奉仕についてワークショップが行われました。職業奉仕という、難しく、広くて大きいタイトルについて、各クラブの色々な意見を聞くことができ、とても勉強になりました。

今週の金曜日には地区の会員増強セミナーがありますので、また来週報告したいと思います。

幹事報告 河島 一夫 副幹事

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①熊本中央RCより創立25周年記念例会・懇親会の御礼が来ております。

②国際ロータリー日本事務局
事務所移転のお知らせ

2013年5月27日(月)より、地下鉄「赤羽橋」駅より徒歩3分となり、皆様のご皆様のご来局に際しては、今迄以上に交通の便が良いかと思われ

ます。

新住所:〒108-0073
東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本城東RC】

6月10日(月)の例会を、「歳の祝い最終家族会」の為、6月11日18:30より「新茶屋」にて行います。

【熊本'05福祉RC】

① 6月11日(火)の例会を、「県立総合運動公園清掃」の為、同日06:30より行います。県総合運動公園駐車場に集合して下さい。

卓話
予定

- 6/3 「熊本グリーンローターアクト活動報告」
★熊本グリーンローターアクトとの合同例会
- 6/10 「次年度第2回クラブ協議会」 ★例会時間20:30迄延長
- 6/17 会長・会長エリート・副会長・幹事・SAA及び6常任委員長 退任挨拶
- 6/24 「夫婦会・歳祝い会」(ホテルキャッスル 11F)

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

【熊本'05福祉RC】

② 6月18日(火)の例会は、「新入会員歓迎会・歳祝い」の為、同日18:00より「火の国ハイツ」にて行います。

【熊本中央RC】

6月14日(金)の例会を、「厄入り・厄晴れ会」の為、日時と場所を変更して行います。

【熊本東南RC】

6月19日(水)の例会を、「慶祝会」の為、同日18:30より日本料理「青柳」にて行います。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、例会を取りやめます。

【熊本城東RC】 6月24日(月)

【熊本'05福祉RC】 6月25日(火)

出席報告

山下 隆生
クラブ管理運営委員



	会員総数	26名	出席率
5月27日	出席免除会員数	2名	47.83%
	計算上会員数	23名	
	出席会員数	11名	
5月13日	前回の出席会員数	17名	83.33%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	20名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
5/7 グリーンローターアクト 石浦 君、上田 君			
5/10 熊本中央RC創立25周年例会 本田 君			

委員会報告

① 「ホタル鑑賞例会」について説明

報告者:クラブ管理運営委員
山下 隆生 親睦担当長

② 「第6回親睦ゴルフ会」について

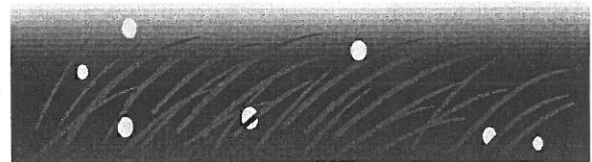
報告者:ゴルフ世話人 河島 一夫 会員
明日のゴルフは雨と強風の為、延期とします。

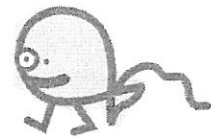
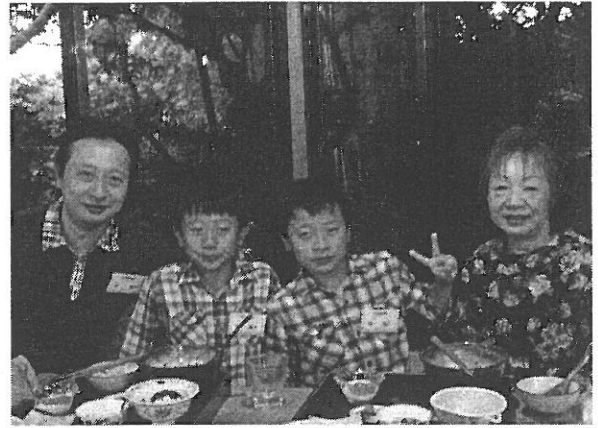
③ 米山奨学生の紹介

報告者:米山奨学カウンセラー 河島 一夫 会員
米山奨学生の曹娥さんを御夫人、御家族に紹介。

3. 例会プログラム

「ホタル鑑賞例会」について、例会を「亭の元」にて行いました。本日はご夫人5名、子供達も含めて御家族18名と米山奨学生の曹娥さんも加わり総勢34名の参加と大盛況でした。例会の際の食事に「だご汁定食」を頂き、7時半過ぎくらいの暗くなって来た頃、瑞巖寺公園の川沿いのホタルの保護区域へ場所を移動し、ホタル鑑賞をしました。光が少しずつ暗くなっていくにつれてどんどんホタルの数が増えてゆき、8時過ぎになると多くのホタルが乱舞し、去年よりも凄く数が増えているように感じました。初めて見る御家族の方は、こんなに多くのホタルを見たのは初めてと言われてました。毎年、増えて来ているという感じですので、熊本グリーンRCの「ホタル保護育成資金」も少しは環境保護にお役に立っているのかなと思いました。又、ボランティアで整備や見回りをされている西里校区の方々には頭が下がる思いでした。3年に亘るグリーンRCのホタル保護事業支援は今年で終了ですが、いつまでもホタルの住める綺麗な水辺の環境が残っていくと良いなと感じました。





左上:葉会員ご家族

左上、左:楽しそうなホタル観賞会の様子

職業奉仕で若者へのキャリア支援を

記事:Ryan Hyland

ロータリー・ニュース:2012年10月18日



セント・ジョセフ・ベントン・ハーバー・ロータリー・クラブ(米国ミシガン州)は、職業奉仕プログラムの一環として、地元の高校2年生と3年生に、それぞれが関心を持つ業界で活躍する職業人と接する機会を提供し、キャリア開発支援を行っています。

これは、クラブが2008年に始めたメンター・プログラムであり、普段見ることのできないさまざまな職業の舞台裏を紹介することで、職業的関心を高めることを目的としています。参加した学生たちは、各業界で活躍する業界人から、夢をつかむためのアドバイスを受けることができます。参加学生の選考は地元の学校が行います。

このプログラムには、これまで300人以上の高校生が参加し、弁護士、医者、フォーチュン500企業のCEO、放送ジャーナリスト、警察官、プロのフットボール選手など、幅広い職業のメンターと交流しました。その場には2人のロータリアンが同行し、プログラム終了後、参加した高校生たちはクラブ例会で結果報告をすることが求められています。

クラブ会長でプログラム委員長でもあるジャッキー・ヒューイさんは、このようなプログラムの実施を通じて、学生のキャリア目標や進路変更を支援していると話します。



2012年度にプログラムに参加したテリー・ラフォレストさんの夢は、気象予報士になることでした。クラブはそんなラフォレストさんのために、地元テレビ局で活躍する気象予報士を訪問する機会を手配しました。訪問後、ラフォレストさんは気象予報士の仕事そのものは自分に合っていないと感じたものの、環境科学への情熱を新たにしました。

「実際にテレビ局のスタジオを訪問するなど、ロータリーの支援がなければ不可能だったと思います。あの訪問で、自分は放送業界にあまり向いていないことが分かりましたが、代わりに、環境科学の分野に興味を持つきっかけとなりました。このプログラムに参加したおかげで、工学と環境科学を同時に扱うような分野に進むという目標がはっきりしました」とラフォレストさん。

ヒューイさんによれば、このプログラムの成功がきっかけとなり、2月に新しいインターアクト・クラブ(セント・ジョセフ・ベントン・ハーバー・インターアクト・クラブ)の結成に至ったとのこと。2週間後には、会員数が60人まで増えました。また、ヒューイさんが2012年RI国際大会でこのプログラムについて紹介したことから、スコットランド、ニュージーランド、インド、ペルー、日本でも同じようなプログラムを始めようという動きが高まっています。

- ・職業奉仕に関する田中作次RI会長のブログ
- ・管理委員長の思い:職業奉仕の可能性をVTTで広げよう
- ・ロータリアンが語るVTTに関するビデオ
- ・VTTに関する概要資料

その他のロータリーに関する情報は、国際ロータリー公式ツイッター日本版をフォローしてご覧ください。

ホンジュラスで非行防止に貢献する青少年センター

ホンジュラスの首都テグシガルパで活動する7つのロータリー・クラブが、恵まれない地域の青少年のための施設を支援しています。

この青少年センターは、ロータリー・クラブからの資金に加え、米国国際開発庁(USAID)のプロジェクト「Regional Youth Alliance」と非営利団体セーブ・ザ・チルドレンからの援助を受けて実現しました。

2009年に設立されたセンターは、都市部で最も貧しいブエナス・ヌエバスとビラフランカに位置し、両地域の人口は合わせて22,000人ほどです。

「この2地域は、暴力団や麻薬組織が活動する危険な地域」と話すのは、ロータリアンであるギエルモ・エンリケ・バレさんです。バレさんは自ら所属するテグシガルパ・ロータリー・クラブと、人口成長と持続可能な開発のためのロータリアン行動グループが協同で行ったプロジェクトの調整役を務めました。「若い人たちは学校に通ったり、職業訓練を受ける代わりに、こうした暴力団や麻薬組織に巻き込まれやすいのが現状です。しかも、一度関与すると、抜け出しにくいのです」

青少年センターは10歳から29歳までの子どもや若者が利用でき、セーブ・ザ・チルドレンが運営を行っています。ここでは危険な環境から離れ、安全な場所で宿題やスポーツをしたり、木工技術、配電、コンピュータ管理といった新しいスキルを学ぶことができます。

「利用者の多くは既に学校を卒業していますが、社会から取り残されてしまっています」と話すバレさん。「そうした若者が悪い環境に巻き込まれてしまう前に、将来の可能性を広げてあげることが目標です」

ロータリアンがセンターの運営を託すセーブ・ザ・チルドレンは、このプロジェクトが大きな成功を収めていることから、独自にほか2カ所でも同様のセンターを開設しました。

バレさんによると、国内のほかのロータリアンもこのようなセンターの支援を行う計画があるそうです。「ホンジュラスには29のクラブがあり、1クラブが1つのセンターを支援することが理想です」

- ・ロータリアン行動グループについて
- ・重点分野「基本的教育と識字率向上」を支援するロータリアンの活動
- ・これらの活動を支援するためのロータリー財団へのご寄付